



宇宙法則コーディネーター
集合意識経営コンサルタント

株式会社サイレントキングダム
代表取締役

新妻 正幸
Masayuki Niitsuma

▶▶▶ Profile

東京都出身、福岡県柳川高等学校テニス部卒業、大学中退後国内外の伝統ある密教・シャーマニズム・錬金術などが受け継がれている地域を訪れ人間の意識構造や宇宙法則との関係性についての洞察を深め独自の体系を確立する。〈抽象度の高い情報と具体的な事象〉を鋭い言語感覚で的確に結びつけ伝える指導スタイルには定評がある。瞑想指導歴 15 年、1000 名以上

▶▶▶ 企業データ

2018 年 5 月設立。コンサルティング事業、教育コンテンツ・セミナー等を開催。〈人間の意識構造〉を主題として人々が行うあらゆる社会活動の〈本質性の増加〉を支援する。

東京都港区三田 1-10-14-201
TEL 050-5361-7200
<https://www.skgdm.jp/>

企業理念を宇宙法則に基づいて 実現する体制づくり

「組織というものはどうしたってどこかに歪みを抱えている。それさえ直してあげられれば経営者の意図を汲む組織へと進化していける。そうするためにはトップの視点を高く保つ必要がある」そう語るのは宇宙法則コーディネーターの新妻正幸氏だ。

十代の頃は本気でウィンブルドンを目指して日夜テニスに明け暮れていたという同氏は名門柳川高校のテニス部の出身である。それまで努力と根性論で成果を出してきた新妻氏は当時、部内でも一番練習している自分がなぜトップに敵わないのか悩み続けていたという。

「あの頃は、心・技・体を充実させるためには何でもやっていた。そこで〈心〉を鍛えるため

に永平寺に坐禅にまで行きました。学生の時にそこまでしている選手は一人もいませんでしたが、していない選手に自分がなぜ勝てないのか、あの時は全く理解することができませんでした。個人トレーナーにも世界を目指すという気持ちを応援してもらいましたがなかなか成果が出ませんでした」

そうやって本当は何をすべきだったのか？を追求して辿り着いたのが〈心・技・体〉ではなく法則性に基づいた〈思考・感情・肉体〉という人間にとって最も自然な分類法を基盤とすることだった。

この三本柱には誰しも得意不得意があり、それを伸ばしたり改善したりしていくものだが、

【適格クライアント層】

- 企業文化を自己組織化の仕組みによって醸成したい企業
- 企業理念の体现を模索しているが、何が欠けているのかが掴めないでいる企業
- 心身の健康と経営が相乗効果を起こす体制を整えたい経営者

【傾向と得意分野】

短期的 ◀◀ ☆☆☆★☆☆ ▶▶ 長期的

全社的 ◀◀ ☆☆☆★☆☆ ▶▶ 社長・専門的

業界的 ◀◀ ☆☆☆☆☆★ ▶▶ 手法的



同時にこれらは関連性が不透明なまま扱われがちだ。ところがまさかここがビジネスにおいても大きな勝敗を分けるポイントだとは誰も真剣には考えてこなかった事だろう。

ビジネスは「人間の意識を土台に成り立つもの」であることを今一度思い出すことがキーであり、そのキーである三本柱を法則によって使いこなすことが改革を起こすポイントなのだ。

それから人間意識の構造についての研究を繰り返してきた同氏は「思考・感情・肉体」とい

う観点は個人の意識に留まるばかりでなく、組織的な団体の意識にも同様に有効であることを知る。この着想を元に集合意識に焦点を当てて開発したのが企業向けメソッドの「チーム瞑想」である。

「ここで大切なことは企業の集合意識が理想的なピラミッドを構築していることです。経営者が頂点となり組織全体が末端まで秩序化されていることが美しいピラミッドと言えます。経営者は動機を磨き、純度の高い理念を生み出す。それに沿って組織全体が機能する、これが法則として合理的なあり方です。だが、実際は売上や日々の問題解決に意識を奪われてしまう。でも、それは宇宙法則の観点から見た良い配置、理想的なピラミッドとは大きく異なってしまうのです」

「しかし、普遍性を組織内に敷き秩序化を促すことで組織全体のピラミッドからは、歪み、がなくなり真に社長の思想を実現する体制を整えることができるのです」

「ピラミッドの歪みがどこにあるのかは表面的な場合と潜在的なパターンとがあり、この2点においていずれの場合も瞑想という手法を用いることで歪みを見つけたり対処したりすることができるようになります。当然、潜在的な問題の方が厄介で難しい問題でなかなか取り組めるものではありません。ですが見えない領域の

問題には「見えない領域に特化したやり方」を適用することで次第にその実態を把握しやすくなり、このような状態になって人間は初めて課題に向き合うことができるのです。瞑想や目に見えない意識に対してはコミットした分、その効果は高くなります。今まで諦めていたこと、「仕事だからしょうがない」と思っていたことにも波及効果は及び、出来る！わかる！が誰にでも実感できるようになります」

最小作用で最大効果を出す組織への変革

これはいわゆる宇宙法則による「進化と再配置」が組織全体になされること」だと新妻氏は言う。

それは、

- ① マンネリ化・不活性の傾向を抑制し、上昇型の集合意識を社風に根付かせる
- ② 企業理念に沿った形での帰属意識の向上
- ③ 最小作用で最大の波及効果を出す

これらが代表的な効果で、特に「③最小作用で最大の波及効果を出す」を狙うためには、社内ルールによる規則の強化ではなく、集合意識の観点から宇宙法則に基づいて組織のあり方に着手することが必須になる。

これは似て非なるものの例として「効率化」が挙げられる。効率化はあくまで工程から無駄を省きよりスムーズに業務を行えるよう改善する事を指す。これはある程度の知識とモチベーションがあれば取り組むことができる活動であるが、新妻氏の最小作用はこれに留まらない。

よくスポーツ選手がゾーンに入るという表現があるが、これは視野が広がり今何をどのようすべきかが瞬間的にわかり、尚且つそのイメージ通りに身体を動かせる状態だ。処理速度、発想力は効率化の比ではない。これは心・技・体ではなく〈思考・感情・肉体〉の観点から意識の歪みを限りなくなくし、一人のスポーツ選手が高度な統一状態に達することで為される。

このような最小作用の状態を企業が組織全体の規模で実現するには職場の環境設定をはじめとして全体が〈有機的な組織〉を目指すことからだ。

組織に内在した目に見えない歪みを限りなくあぶり出し、修正・再配列していくことでスタッフの個々人としての動きやすさは全く違ってくる。力を出し切れなかった社員が各々の持ち場にあった形で成長・自立していつてくれる体制づくりができれば、若い社員もその組織の中で早い段階から会社に馴染み貢献してくれる存在となる。

長期的に安定して能力を発揮できる循環は組

織的に進化していく結束力を生み出すことにつながる。最小作用はこういった有機的な組織の中で自ずと導き出されるのだ。一度この組織全体の意識を構造的に見直すために必要なプロセスを知れば、あとは自分たちの手で自己組織化するオリジナルの上昇パターンを手に入れることができる。

一見、生産性を感じさせない瞑想という手段も、組織を生命体と捉え、その進化の為の手段とするならば最も効率的で誰にでもどんな組織にでもできる強力な方法となる。同氏はあくまで瞑想を「集合意識の構造改革」のために、一歩踏み込んだ奥の手として提案しているがもちろん社員個々人の能力アップ、ストレス等はその日が経たないうちに改善される。

経営者、組織のトップ、エグゼクティブ層がコミットすることで秩序化は拡大し〈有機的な組織〉としての進化を加速する

企業内では外部の状況が常に変化しているにも関わらず業務内容をルーティン化している部分も多い。するとそこで働く人々の意識までもが機械的な状態と化してしまいそれがいつの間にか集合意識の歪みにつながりやすい。しかし、常に上位の存在が下に影響を与えることは想像にかたくない。

だからまず、トップが瞑想をやり新しい秩序を促すキッカケを作り出す。そうすれば2番手、3番手が何らかの動きを見せるなど自然と組織の詰まりを発見ししやすいスムーズな流れを生み出すことができるのだ。無数の小さな詰まりを解消していけば小規模の単位でしか循環していなかった組織が全体として勢いのある生命体となり、本来のエネルギーに相応しい形で循環拡大していくようになる。

その為にこの組織向け〈チーム瞑想〉は個人向け〈日常統合化メソッド〉との併用を基本としている。経営者自らも〈思考・感情・肉体〉を高次元化することで、組織を先導する影響力のあるトップとしての意識を獲得することができるのだ。

仕事の中の人生ではなく人生の中の仕事である事を大切に扱うことが根本だ。企業に貢献し、個人と会社が共に益々発展していけるよう生命力のある組織作りを指導する〈目に見えない領域に踏み込むコンサルタント〉は、新妻氏だけである。

コンサルティング事例、実績等のご紹介

組織全体が活性化し不協和音が減少 経営者は心身ともに充実

クライアントの知人であった M 氏は世界最大規模のグローバル企業の日本法人の経営者。日々多忙を極めていた M 社長は初め、ごくプライベートな悩みの解決のためにと瞑想を開始。最初は体調が改善し、仕事が捗る等のレベルアップを体感する中、徐々により本質的な自分自身の意識の癖や歪みを自覚されるようになる。その自覚の深まりとともに経営者としての自分自身の一挙手一投足が会社組織全体に対してどの程度の影響力を与えているのかをそれまで以上によく理解されるに至る。一年間の個人的な訓練を経て M 社長は次に瞑想環境を自社に整備することを決意。社員一人ひとりの意識がぶつかり合いながらも活性化し合う有機的な社内体制をハード面とソフト面で導入。〈社内の雰囲気〉という数値化は難しいが実際には誰もが知覚する領域に対しての打開策を瞑想体制導入によって仕組み化し、業績アップを実現。

feature point

コンサルティングの特徴・ポイント

- 宇宙法則という基準での社内体制を作り出し、発展的な組織を実現。企業理念にとって理想的な組織構造への再構築を促す
- 経営者にとって必要な〈目に見えない部分の感度を高め〉既存の情報と合わせることで、より磨かれた戦略を用いるキッカケを得る
- 社員一人ひとりの〈思考・感情・肉体〉の歪みを法則にあった形で回復させ会社に対しての帰属意識の向上を図る
- 組織とそこで働く人々の関係性を表層的なレベルに留まらせない
- 企業文化の長所と短所を整理できるので独自の方向性で自己組織化する理想的な上昇パターンを展開できる
- 〈普遍的な性質〉への理解が増し、その場しのぎ的な情報ではなく、長い目で見た質の良い情報に組織全体でコミットしやすくなる
- 個人向けメソッドと組織向けメソッドの併用をすることにより経営陣と社員間の透明性が大幅に増す。これによって〈最小作用で最大効果を生み出す〉ことが可能になる
- 扱いづらかった個々人の思考、感情の働きをプラスのエネルギーに転換し事業の推進力として用いることができる
- 多様性を増しながらも全体が統合へ向かう〈進化型組織〉を実現する